

【川崎市市制 100 周年記念事業】

未来のかわさきをデザイン「こんなまちになったらいいな♪」

全国都市緑化かわさきフェア×森のアート×キットパス

市制 100 周年を記念する今年度は、市内企業の日本理化学工業株式会社さんにも御協力いただき、代表的な製品の「キットパス」をつかって取組みをすすめていきます。



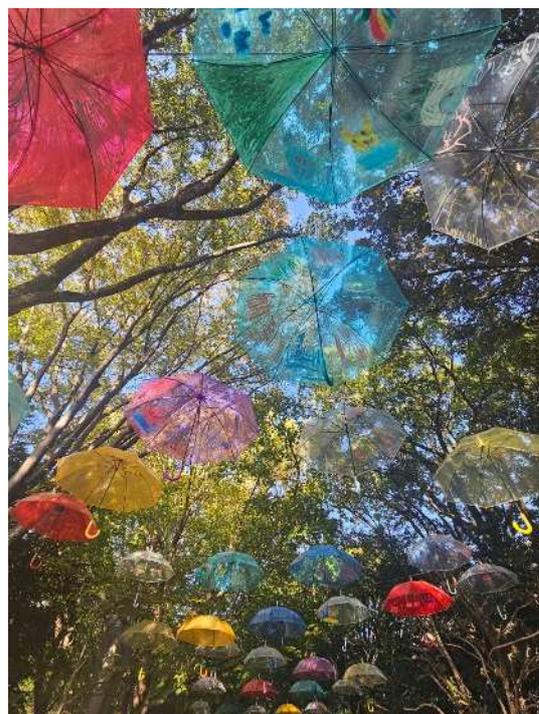
▲ 会期：10月19日（土）～11月17日（日）

10月19日から始まった「第41回全国都市緑化かわさきフェア」。準備段階でフェア担当者からお誘いいただき、「緑化フェア」×「こんなまちになったらいいな♪」の夢のコラボが実現しました。

等々力緑地会場に、色とりどりの傘で彩られた「森のアート」が出現。



▲ ~森のアート~ 看板



木漏れ日がキラキラと輝いてきれいです！
津田山保育園・菅保育園・下小田中保育園の子どもたちが描いて消せるクレヨン『キットパス』を使って傘を芸術品に変身させました。緑がいっぱいで豊かな未来を想像して、お花や虹、食べ物や乗り物を描きました



今回は特別に作成風景を覗いてみましょう！



津田山保育園は 4・5 歳児クラスがペアになって取り組みました。5 歳児が 4 歳児に描きやすいように傘の柄を持っていてくれたり、5 歳児が描いたものを 4 歳児が色を塗ったりしながら協力して完成させました。

下小田中保育園も 5 歳児クラスが作成。「傘に絵を描く」という特別な体験にワクワク！作成中も終始楽しそうな子どもたちが印象的でした。



▲ 仲良く作成！このコンビで運動会の競技も一緒にがんばるぞ！



▲ 「間違えた〜！」でも、キットパスは消して書き直せるから大丈夫。

菅保育園は 5 歳児クラスが作成。8 面全部に描くのは大仕事でしたが、描き終わると満足気な子ども達でした。



▲ 「できた！」「かわいい！」「最高！」



▲ 「大きい傘だから描くのが大変！」



▲ 「この道、もう一回通りたいなあ。。。」

秋の遠足には等々力緑地に行き、実際に「森のアート」を体感！自分や友達の傘を見つけて大盛り上がりしました。実は前々日に強風が吹き、閉じてしまったものもありましたが修復が前日に終わり、無事に遠足で見ることができました。

ぜひ皆さんも散策してなんとも幻想的な雰囲気に入りてください。場所は正面広場から入って催し物広場前を通り、とどろきアリーナの方にお進みください。お待ちしております！



▲ 「僕の傘あった！」

令和7年3月の「第41回全国都市緑化かわさきフェア」春開催でも展示予定です。これからも「キットパス」と一緒に子ども達の考える「100年後の川崎」をいろいろ表現していきます！各園の取組はまた次回お伝えいたしますので楽しみに！

問合せ先

川崎市こども未来局 保育・子育て推進部
運営支援・人材育成担当